

## ◇蒜 山

平成 29 年 1 月 28 日（土）・29 日（日） 岡本(L)、嶋原、右田(記録)

平成 27 年 1 月に同じメンバーで大山と蒜山の山行を行ったが、蒜山は前夜からの大雪で除雪が間に合わず登山口までたどり着くことが困難なため断念したが、今回はそのリベンジということで上蒜山と中蒜山を登ることにした。

### 1/28(土) 「快晴の下、快適な尾根歩きを楽しむ」

5:30 大阪発⇒8:45 上蒜山登山口 9:15→12:15 槍ヶ峰→1,202mピーク 12:45→13:00 上蒜山頂上 1,199.7m→1,202m ピーク 13:40→14:00 槍ヶ峰→15:25 上蒜山登山口⇒16:00 中蒜山塩釜登山口(テント泊)

上蒜山登山口に到着。だが駐車場が除雪されていない。無理やり止めても2～3台しか止められない。しかたなく、端に止める。当然、トレースもないだろうと思ったが、登り始めると真新しいトレースが。しかし、それも途中で家屋のほうへ向かってなくなった。うろうろしながら尾根への取り付きを探す。やっと杉林のなかにテープを見つけ、登り出す。樹林帯をしばらく登ると開けた尾根に出る。ここからは、雪庇の張り出した尾根に行く。以前、雪庇を踏み抜いた経験のある者としては、あまり気持ちのいいものではなく、できるだけ樹林帯近くを歩くことにする。快晴で尾根からは下界がきれいにみえるし、大山の山並みも雄大に望める。頂上まで3人で交互にラッセルする。頂上に到達するも標識が雪に埋もれて証拠写真にならず。1,202mピークで昼食を取り、下山。登りはラッセルでしんどかったが下りは快適だ。眺望を堪能しながらゆっくりと下る。最後、今は使われていないスキー場を抜け、駐車場に到着する。結局、我々以外は、単独の男性が後から登ってきただけの静かな山だった。



前半の登り



快晴の尾根



大 山



尾根の雪庇（下りにて）

## 29(日) 「連日のラッセル、中蒜山リベンジなる」

塩釜 8:20→日留神社 9:30→10:50 中蒜山頂上 1,123m→日留神社→12:20 塩釜→国民休暇村(温泉)→17:00 大阪

前日に中蒜山登山口の駐車場に移動し、我々だけテント泊させてもらったが、朝起きてしばらくすると日帰りの登山客の車が次々として入ってくる。今日はラッセルせずに済むとほくそ笑む。一番手は7、8人の男女のパーティ。2番手は地元の人らしい単独の男性。我々は3番手で登り始める。ところが序盤で先行パーティに追いついてしまう。さらに3合目の少し手前で単独の男性にも追いつく。結局、連日のラッセルになる。中蒜山は、上蒜山よりも斜面が急で連日ということもあり結構つらい登りとなる。7合目あたりで休憩していると、男性二人組が追いついてきたのでラッセルをお願いする。しかし、いくらも登らないうちに追いつきまたまたラッセル。しかし、そこから頂上まではさほどの距離ではなかった。頂上直前の避難小屋を過ぎ、標識の埋もれた頂上に立つ。この日は天気が下り坂で眺望はさほどよくなく、風も出てきたので小屋の陰で昼食を取る。二日連続の登頂を祝い乾杯する。下りの途中でぱらぱら雨が降り始めたが、本降りになる前に駐車場に到着。国民休暇村の温泉で暖まり、帰阪する。天気に恵まれた楽しい山行であった。



中蒜山頂上



山頂手前の避難小屋